



『2024年 新年のご挨拶』 会長・中山耕一

新年好。富谷市日中友好協会の皆さん、明けましておめでとうございます。昨年は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが、2類から5類感染症に移行し、少しずつ日常を取り戻してきた年でした。しかしまだ制限も感じるような中、会員の皆さんには、様々な活動にご尽力いただきまして、心から感謝申し上げます。



昨年は、夏の甲子園で仙台育英学園高校野球部が2年連続で決勝に進出し、我々に大きな感動をもたらしてくれました。一方、ワールドベースボールクラシックでは、侍ジャパンが全勝優勝を果たし、大活躍の大谷選手は、破格の契約金でドジャースに移籍しました。海外で活躍する日本の選手が世界から更に注目されるようになり、そのことがスポーツの分野で、お互いの歴史や文化を理解し合うきっかけとなればと願っております。

富谷日中の皆さんの日頃の尊い活動に感謝申し上げますとともに、2024年、皆さんにとりまして幸多い年でありますよう祈念します

「新春の集い」2月に開催へ！！

第2回の理事会が12月6日にトミプラで行われました。街道まつり、公民館祭りについて、報告がありました。また2月10日が「春節」にあたることから、恒例の「富谷市日中・新春の集い」は2月に行うことになりました。※詳細は次号で！

☆丁月・大使夫人と懇親会☆

12月11日に全国女性委員会の役員会・懇親会が東京・上野の海底撈で企画され、水戸憲子・県女性委員長が参加しました。新任の田島孝子全国委員長のあいさつ、意見交換の後、火鍋を囲んでの懇親となり、呉江浩大使の丁月夫人(写真前列㊦)もあいさつ。「皆さんとお会いでき貴重な時間でした。日中の友好的発展のために力を合わせていきましょう」と挨拶されました。



「日本語スピーチコンテスト」行う



第2回となる中国人による日本語のスピーチコンテストが12月17日にZ

OOM形式(写真㊦)で行われました。5名が参加し、宮城についての感想をテーマに発表しました。これには富谷市日中からも、運営の横山副会長や中国語講座の方々が原稿のチェックやアドバイス、審査委員として応援しました。最優秀賞には王愈茜さんが選ばれました。

私も一言

“健康な一年に” 新聞やTVの墓銘碑を見る

と他人事ではなくなる。大分前だが、某公民館の作品コーナーに「中国健康十一訓」なる書が展示されていた。「少糖多果 少塩多酢 少肉多采 少食多嚙 少衣多浴 少車多歩 少煩多眠 少念多笑 少言多行 少欲多施 少煙少酒」と。本当に中国か、出典は不明！ 年末、高校の同窓会ではドクターが「一日一回自分をほめる 一日十回声を出して笑う 一日百回深呼吸する 一日千回字を書く 一日万回歩く」と。できそうな気だけして帰宅した。この一年もお元気で。(水戸雄)

【投稿--募集】

今年から「TNC通信」の題字を変えてみました。

会員の皆様からの自由な投稿をお待ちしております。写真、詩歌、行事など、投稿を宜しくお願い致します。メールやFax等を身近な役員迄。